

報 告

処置・看護ケア場面における幼児に対する
看護師のことば

和田 久美子

〔論文要旨〕

本研究は、処置・看護ケア場面に看護師が幼児に対して用いることばを明らかにすることを目的とし、子どもを対象とした看護を行っている看護師658名を対象に調査した。その結果以下の示唆を得た。1. 幼児後期には【共通語】が多く使われるようになるが、日常生活でも使われるような平易なことばを用いている（清拭を「からだふき」など）。2. 看護師は幼児後期よりも幼児前期には、【共通語】を用いるよりも【擬音語・擬態語】を用いるほうが理解につながると考えている（うがいを「ガラガラ」など）。3. 看護師は幼児前期後期ともに、幼児がイメージしやすいと考えられる【擬音語・擬態語】、【反復語】を多く使っている（吸入を「シュー」、清拭を「ふきふき」など）。

Key words：幼児，看護師，看護ケア，ことば

I. はじめに

子どもの権利条約を日本が批准した1994年より、子どもに対するインフォームド・コンセントに関して多くの研究が行われてきた。また、インフォームド・コンセントのための方法としてプレパレーションに関する研究も多く行われてきている。いずれも、親の認識、看護師の認識、プレパレーションの評価という視点で行われている。わが国では、これまで、インフォームド・コンセント、プレパレーションのいずれでも、どのような言語的表現を用いていくかという点にほとんど着目してこなかった。

Wiedenback は、コミュニケーション・スキルとは「言葉の慎重な選択と同時に、その言葉の用い方も、望んでいる成果を達成する上に重要な役割を果たす」と述べている¹⁾。看護におけることばは円滑にコミュニケーションをとるために重要なものである。特に、発達過程にある子どもにとっては重要である。子ども

は発達過程にあり、発達段階を考慮した説明が必要である。また、子どもへのインフォームド・コンセントについては「意思決定の中心を子どもにおいた新しい Shared consent への移行が求められている」といわれている²⁾。子どもが意思決定していくためには、子どもが理解できるように説明していくことが必要である。発達段階によっては理解可能な部分もあり、その子どもなりの理解をしている。

これまでの研究では、子どもに説明することについて「わかりやすいことばで説明し、承諾を得る必要性がある」といわれている³⁻⁸⁾。また、子どもを励ます態度や言動は子どもの不安を軽減するとされている⁹⁾。母親が子どもに説明する際にも、子どもにどのようなことばを用いて説明するのかを具体的な例を示すことが効果を促すことにつながるとしている¹⁰⁾。幼児後期の子どもに予防接種を行う前に何が起きるかを説明した時には、説明を聞き協力的であったと報告されている¹¹⁾。子ども自身が発達段階に応じて理解の範

Nurse's Word to Preschool Children in Treatments and Nursing Care Settings

Kumiko WADA

東海大学健康科学部看護学科（研究職/看護師）

別刷請求先：和田久美子 東海大学健康科学部看護学科 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143

Tel：0463-93-1121 Fax：0463-90-2052

(2305)

受付 11. 1.19

採用 11.10. 5

囲を広げ、看護ケアに自ら取り組めるために子どもに対してどのようなことばを用い、どのように説明していくかが重要である。しかし、看護場面で説明に用いることばを実証的に検討した研究は少ない。また、ことばそのものに注目し、どのようなことばを用いるのかという検討をしたものはほとんどみられない。どのように説明するかということを検討するためには、用いることばを明らかにする必要がある。

本研究では、これまで使われてきたことばを明らかにすることで、そのことばを今後どのように用いていくかを検討する基礎的資料とした。また、幼児前期と幼児後期による使うことばの違いを検討し、使い分けることばを明らかにした。幼児に対して用いる看護師のことばについて処置・看護ケア場面に焦点をあてて検討した。

II. 目的

看護師の幼児への言語的表現に関する基礎的資料として、処置・看護ケア場面に看護師が幼児に対して用いることばを明らかにした。

III. 方法

1. 対象

東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県、静岡県で子どもの看護を行っている看護師658名を対象とした。

2. 調査期間

調査は2007年6月から10月に行った。

3. 材料

i. ことばの選定

宮本¹²⁾が就学前の子どもを育てる者が、育児のさまざまな場面で子どもに対して使用することばを調査し提出した1,783語と茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、施設の施設で小児病棟に勤務する看護師118名を対象に行った調査に基づき、看護場面で用いられることばを選定した。小児看護経験者1名と筆者が看護場面で用いられることばをそれぞれにリストアップし、どちらか一方がリストアップしたものについては両方で検討した。

ii. ことばの配列

ことばは50音順に配列した。また、ひらがなの後ろ

に()で漢字を併記したが、漢字が難解、あるいは漢字がなくても十分に意味が伝わると判断したことばについては併記しなかった。かなと漢字を併記しても意味が伝わりにくいことばは、[]に使用例や補足説明を加えた。

iii. 質問紙と調査方法

質問紙は、2,152語を7グループに分け、300語の調査用紙を6種類、352語の調査用紙を1種類の計7種類作成した。回答方式は幼児前期、幼児後期のそれぞれに対して「使う」、「使わない」の2件法とした。調査語にない言い方をしている場合は別紙の「別の言い方」に記入できるようにした。また、質問紙は無記名とした。

調査は、各施設の代表者に研究依頼文書を郵送し、調査協力数を返答してもらい、各施設に郵送した。調査用紙は、施設ごとに6種類の調査用紙をほぼ均等になるように、調査協力数に応じて配分した。各施設から看護師それぞれに配布され郵送で回収した。

iv. 分析方法

調査した2,152語について幼児前期(1~3歳)、幼児後期(4~6歳)それぞれで使用率(使用数/調査数)を求めた。解析ソフトSPSS12.0を使用し χ^2 検定を行い、有意水準を5%未満とした。本論文では、2,152語のうち、処置・看護ケア場面に関係すると考えられることば22項目63語について検討した。処置・看護ケア場面に関係すると考えられることばに関しては、教育心理学的に幼児の言語に関する研究を行ってきた研究者1名、小児看護経験者1名と筆者の3名で検討した。また、ことばの分類に関しては、教育心理学的に幼児の言語に関する研究を行ってきた研究者1名、大学院生1名と筆者の3名で検討した。

4. ことばの定義

【共通語】は、日常的で広く用いられることばとした。【幼児語】は、幼児期に特有なことば、または幼児を相手としたときにのみ使われることばとした。【擬音語・擬態語】は、音や声や状態をまねて表現していることばとした。【反復語】は、一語で成り立つことばを重ねて繰り返したことばとした。【擬人化】は、人ではないものを人のように表現することとした。【専門用語】は、医療に関する分野で公的に用いられることばとした。【その他】は上記の分類に区分されないことばとし、【共通語】と【幼児語】を組み合わせる

など2つの分類を含んでいる, または名詞と動詞を組み合わせたこととした。

5. 倫理的配慮

研究の趣旨, 自由意志の尊重, 途中中止の権利の保障, 匿名性の厳守, 結果の開示方法, 教育および学会発表を含む研究以外にデータを用いないことについて, 施設代表者から看護師に文書を配布してもらい, 研究協力に同意した場合は, 無記名で質問紙に記載し, 提出することとした。本研究は, 昭和大学保健医療学部倫理委員会の審査で承認を得て実施した。

IV. 結果 (表1)

1. うがい

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】である[ガラガラ] (幼児前期78.00%, 幼児後期84.00%), [ガラガラベツ] (幼児前期66.00%, 幼児後期70.00%), [グチュグチュベツ] (幼児前期73.47%, 幼児後期69.39%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[うがい] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

2. ガーゼ

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[ガーゼ] (幼児前期58.00%, 幼児後期64.00%) 以外に使われたことばはなかった。

3. ギプス

幼児前期, 後期ともに【専門用語】である[ギプス] (幼児前期24.49%, 幼児後期51.02%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

4. 救急車

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】である[ピーポー] (幼児前期85.42%, 幼児後期72.92%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[きゅうきゅうしゃ] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

5. 吸入

【擬音語・擬態語】である[シュー] (幼児前期76.06%, 幼児後期76.09%), [モクモク] (幼児前期

82.98%, 幼児後期72.34%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[きゅうにゅう] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

6. 薬

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[おくすり] (幼児前期94.12%, 幼児後期98.04%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[くすり] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

7. 車椅子

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[くるまいす] (幼児前期52.08%, 幼児後期81.25%) が多く使われていた。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

8. 血圧測定

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】である[シュッシュ] (幼児前期69.57%, 幼児後期73.91%), [シュポシュポ] (幼児前期63.04%, 幼児後期69.57%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[けつあつそくてい] ($p < .01$), 【その他】である[けつあつはかる] ($p < .01$) は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた。

9. 検査

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[けんさ] (幼児前期63.27%, 幼児後期93.88%) が多く使われていた。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

10. 抗生剤

幼児前期, 後期ともに【専門用語】である[こうせいざい] (幼児前期8.16%, 幼児後期40.82%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

11. 手術

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[しゅじゅつ] (幼児前期36.96%, 幼児後期71.74%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

12. 清 拭

幼児前期, 後期ともに【反復語】である[きれいきれい] (幼児前期93.88%, 幼児後期85.71%), [ふきふき] (幼児前期81.25%, 幼児後期72.92%) が多く使われていた。また, 【その他】である[からだふき]は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

13. 退 院

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[たいいん] (幼児前期43.48%, 幼児後期67.39%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

14. 注 射

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】である[チツタン] (幼児前期96.08%, 幼児後期94.12%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[ちゅうしゃ]は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

15. 注射器

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[ちゅうしゃき] (幼児前期25.49%, 幼児後期54.90%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

16. 聴 診

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[もしもし] (幼児前期100%, 幼児後期95.74%) が多く使われていた。

17. テーブ

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】である[ペッタン] (幼児前期84.78%, 幼児後期84.78%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[テープ] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .05$)。

18. 点 滴

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[てんてき] (幼児前期63.46%, 幼児後期76.92%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .05$)。

19. 軟 膏

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[なんこう]

(幼児前期5.88%, 幼児後期19.61%) 以外に使われたことばはなかった。また, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .05$)。

20. 入 院

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[おとまり] (幼児前期82.00%, 幼児後期72.00%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[にゅういん] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

21. 包 帯

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[ほうたい] (幼児前期65.96%, 幼児後期85.11%) が多く使われていた。しかし, 【反復語】である[まきまき] (幼児前期70.21%, 幼児後期72.34%), 【擬音語・擬態語】である[くるくる] (幼児前期60.42%, 幼児後期62.50%) も多く用いられていた。また, 【共通語】である[ほうたい] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

22. レントゲン

幼児前期, 後期ともに【共通語】である[しゃしん] (幼児前期67.39%, 幼児後期76.09%), [おしゃしん] (幼児前期65.31%, 幼児後期69.39%) が多く使われていた。また, 【共通語】である[レントゲン] は, 幼児前期と幼児後期で有意差がみられた ($p < .01$)。

V. 考 察

幼児前期, 後期ともに【共通語】が使われることが多い項目は薬, 車椅子, 検査, 聴診, 点滴, 入院, 包帯, レントゲンの8項目であった。但しそのまゝのことばを使っているのは[くるま], [けんさ], [てんてき], [ほうたい] であった。他のことばは, 薬は[おくすり], 聴診は[もしもし], 入院は[おとまり], レントゲンが[しゃしん]となっていた。[おくすり], [おとまり] は《お》をつけて, ていねいな形で表現されていた。《お》, 《ご》をつけることは, 親しみやすい形であり¹³⁾, 幼児に伝えやすいことばである。また, [しゃしん], [もしもし], [おとまり] は, 別なことばに置き換えて表現していることばである。幼児が理解しやすいことばとして, 日常で使うことばに変えている。

幼児前期, 後期ともに【擬音語・擬態語】が使われ

ることが多い項目はうがい、救急車、吸入、血圧測定、注射、テープの6項目であった。友定は、「聴覚映像と概念、記号表現と記号内容との関係が成立してことばの開始になる。その記号関係の成立にとって重要なのは、両者にまたがる性質を有する擬声・擬態語である」といっている¹⁴⁾。このように【擬音語・擬態語】は、幼児が物事を理解するときに重要な役割を果たすという意味では、看護師が処置・看護ケア場面で多く使用することも当然である。幼児が理解しやすい、または、イメージしやすいことばを用いているといえよう。

幼児前期、後期ともに【反復語】が使われることが多く項目は清拭、包帯の2項目であった。「母親が育児のために使うことば、育児語の特徴として反復の形式が多い」といわれている¹⁵⁾。【反復語】は、「音が確認しやすく、語形として認知しやすいものになっている」といわれており¹⁶⁾、状態を表すことばとしてわかりやすく、子どもが受け入れやすいことばといえる。

ほとんどのことばで【共通語】に分類されていることばが幼児後期に多く使用されるようになっていた。しかし、清拭に関しては幼児前期、後期ともにほとんど使用されていなかった。これは、清拭ということばが日常生活では使用することが少ない【専門用語】のためであると考えられる。他にもギプスの「ギプス」、抗生剤の「こうせいざい」についても幼児前期と幼児後期の使用率に有意な差がみられたが、幼児後期でも半数程度の使用率であった。幼児後期は、語彙数が多くなり日常生活で理解できることばが多くなってくる。しかし、非日常である【専門用語】については、理解が難しいと判断されているといえる。

ガーゼ、ギプス、点滴、抗生剤、軟膏、注射器、手術、退院の項目は、一つのことばしか挙げられていなかった。【専門用語】や医療特有のことばは、わかりやすいことばで表すことが難しいのではないだろうか。そのために一語で表すというよりも文章で説明していると考えられる。

本研究で検討したことばは、看護師が病院で幼児に対して使うことば、特に処置・看護ケア場面によく使用することばであった。これらのことばは、日常で使われることが少ないことばである。そのため、幼児後期で理解できることばも多くなってきたはいるが、【共通語】でも平易なことばを使用し、【擬音語・擬態語】、【反復語】の使用が多くなっていたといえる。また、看護師は幼児前期には、【共通語】を用いるよりも【擬

音語・擬態語】を用いたほうが理解しやすいと考えている。

本研究において、わかりやすいことばとはどういったことばであるかを具体的に示した。このことにより、処置・看護ケア場面においてさらに幼児が理解できることばを用いていくこと、子どもが意思決定していくことの一助になったと考える。また、幼児前期と幼児後期とのことばの使い分けに関しても示唆を得ることができた。

VI. 結 論

1. 幼児後期には【共通語】が多く使われるようになるが、日常生活でも使われるような平易なことばを用いている。
2. 看護師は幼児後期よりも幼児前期には、【共通語】を用いるよりも【擬音語・擬態語】を用いるほうが理解につながると考えている。
3. 看護師は幼児前期、後期ともに、幼児がイメージしやすいと考えられる【擬音語・擬態語】、【反復語】を多く使っている。

謝 辞

本研究は2009年度聖徳大学大学院博士論文のデータの一部を用い加筆修正したものである。この研究にあたり、研究指導をいただいた福沢周亮先生、調査にご協力くださいました看護師の方々に深く感謝いたします。

文 献

- 1) Wiedenbach E. コミュニケーション 池田明子訳. 東京：日本看護協会出版社, 1979.
- 2) 柳澤隆昭. 子どもに対するインフォームドコンセント：Informed consent から Shared consent へ. 小児保健研究 2005；64 (2)：184-189.
- 3) 土屋博之. 手術同意とインフォームド・コンセント. 小児内科 1994；26 (4)：533-535.
- 4) 馬場一雄. 子どもの患者とインフォームド・コンセント 子どもの理解力、認知力に合わせた話し方を. からだの科学 1995；181：36-39.
- 5) 星野一正. インフォームド・コンセント 日本に馴染む6つの提言. 丸善株式会社 1997.
- 6) 片田範子. 子どものQOLと子どもの権利 手術を受ける子どもの看護を中心に. 小児看護 1997；20 (5)：651-654.

- 7) 日下隼人. 家族や患児にどこまで説明するか 診療上のアクシデント インフォームド・コンセントと対処と予防. 小児科別冊 1998 ; 1-5.
- 8) 後藤弘子. 医療と子どもの権利子どもの人権双書 4 医療と子どもの人権 その法的側面. 小児内科 1998 ; 26 (4) : 513-517.
- 9) 中村美保, 兼松百合子, 小川京子. 医療処置をうける小児の痛みの程度と行動に表れる反応. 千葉大学看護学部紀要 1993 ; 15 : 45-52.
- 10) 小関和代. 幼児期の外科小手術に対する心理的準備. 看護研究 1984 ; 17 (3) : 83-91.
- 11) Ross-Trevor J. Informed Consent and the Treatment of Children. Nursing Stand 1996 ; 10 (5) : 46-48.
- 12) 宮本智美. 母親の育児語に関する実証的研究—語彙表作成を中心として—. 聖徳大学児童学研究 2001 ; 3 : 87-103.
- 13) 教育調査研究所. 小学校国語「入門期」に関する研究. 教育調査研究所 1977 : 27-29.
- 14) 友定賢治. 育児語彙の開く世界. 初版. 大阪:和泉書院, 2005 : 61-79.
- 15) 前掲書47-60.
- 16) 早川勝広. 育児語と言語獲得. 言語生活 1981 ; 351 : 50-56.

[Summary]

We surveyed 658 pediatric nurses to elucidate the vocabulary they use while treating and caring for pre-school children. The results revealed the following. (1) Even though nurses use common language relatively often with older pre-school children, they choose simple words that are encountered in everyday life (e.g., the Japanese for “body washing/cleaning” — literally “body wiping” — instead of “bed bathing”). (2) The results also indicate that nurses think younger pre-school children can understand onomatopoeia more easily than common language (e.g., “garagara” for “mouthwash”, mimicking the sound for gargling). (3) With both younger and older pre-school children, nurses generally use onomatopoeic expressions and repetitive words to which pre-school children can easily attach meaning (e.g., the sound of sucking in the breath for “breathe in” ; and “wipe” — meaning “wash/clean” — for “bed bathing”).

[Key words]

pre-school children, nurse, nursing care, language